

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第五百十三號

明治卅九年一月十五日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣訓令第二號

郡	役	所
警	察	署
市	役	所
警	察	分
町	村	役
村	役	場

度量衡器臨檢及取締規則施行手續左ノ通り相定ム
但シ明治三十六年十二月本縣訓令甲第四十四號度量衡取締ニ關スル事務心得ハ廢止ス
明治三十九年一月十二日 和歌山縣知事 伯爵 清 樓 家 敷

度量衡器臨檢及取締規則施行手續

第一條 警察署長、警察分署長ハ常ニ其部内ニ於ケル度量衡器ノ取締ヲ行フヘシ
第二條 警察署長、警察分署長ハ度量衡器營業者名簿ヲ調製シ其部内度量衡器ノ製作者、修覆者販賣者ノ氏名、免許年月日、營業所及工場ノ位置並ニ免許ヲ受ケタル度量衡器ノ種

縣報第五百十三號 明治三十九年一月十五日 第三種郵便物認可

類、形狀及物質ヲ記載シ其異動アル毎ニ之ヲ更正スヘシ
前項ノ名簿ニ記載スヘキ營業ノ創廢其他營業上ノ異動ハ第三部長之ヲ通知ス

第三條 警察署長、警察分署長ハ毎年一回以上(定期臨檢施行後)其部内度量衡器ノ製作者、修覆者販賣者ノ營業所及使用者ノ店舗其他物件ノ賣買、授受、証明ヲ爲スヘキ場所等ヲ巡視シ其狀況ヲ様式第一號ニ依リ遲滞ナク知事ニ報告スヘシ

第四條 警察署長、警察分署長ハ度量衡ニ關スル違犯者ヲ告發シタルトキ又ハ之ヲ處分シ確定ニ至リタルトキハ其年月日、違犯者ノ氏名、住所、身分、職業、年齡及違犯事實、違犯條項、處罰條項等ヲ詳具シ知事ニ報告スヘシ

第五條 市町村長ハ様式第二號ニ依リ度量衡器使用個數臺帳ヲ備ヘ其部内度量衡器使用者ノ届出ニ依リ使用ノ創廢其他異動アル毎ニ之ヲ記載スヘシ

當該官吏又ハ警察官吏前項ノ臺帳ノ檢閲ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ提供スヘシ

第六條 市町村長ハ常ニ其部内ノ度量衡器使用者ニ對シ度量衡ニ關スル法令ノ趣旨ヲ説示シ違犯者ナカラシムルコトヲ努ムヘシ

第七條 度量衡器ノ定期臨檢ヲ行フ場合ハ市町村長ハ左ノ各號ニ依リ取締上必要ノ處置ヲ爲スヘシ

一、其部内度量衡器ノ使用者ニ通知シ遺漏ナク臨檢ヲ受ケシムヘシ
二、受檢者ヨリ差出ス度量衡器ヲ使用個數臺帳ニ照合シ到着順ニ依リ受檢番號ヲ付シ受

明治三十三年五月八日第三號郵便物認可

檢者ノ氏名、住所及受檢器物ノ種別個數ヲ記載シタル傳票ヲ添付シテ當該官吏ニ提出スヘシ但シ器物ノ紛雜ヲ避ケルカ爲メ尙別ニ受檢者氏名ヲ記シタル紙片ヲ每個受檢器物ニ添付スヘシ
 三、前號ニ依リ臺帳照合ノ際受檢器物ニ増減アルトキハ其事由ヲ調査シ傳票ニ記載スヘシ
 四、當該官吏ノ檢査終了シタルトキハ其度量衡器ノ引致ヲ受ケ不合格ノモノハ當該官吏ノ指示シタル注意事項ヲ説明シテ之ヲ受檢者ニ交付スヘシ
 臨檢所ヲ指定シタル地ノ市町村長ハ臨檢所ノ設備ヲ爲スヘシ其設備方法ハ第三部長之ヲ通牒ス
 第八條 警察官吏度量衡臨檢及取締規則第二條ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ其度量衡器ヲ提出スヘキ期日及場所(定期臨檢ノ告示アル最奇ノ場所又ハ縣廳内度量衡器檢定所)ヲ指定シテ檢査ヲ受ケヘキコトヲ命ジ直ニ其旨ヲ當該官吏ニ通知スヘシ
 第九條 市町村長ハ其部内度量衡器ノ製作者修繕者又ハ販賣者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ直ニ其事實ヲ詳記シ知事ニ報告スヘシ
 一、公權ヲ剝奪セラレタルトキ
 二、禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其確定シタルトキ
 三、家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其確定シタルトキ
 第十條 郡市長ハ毎年四月一日現在其部内度量衡器ノ種類個數及使用者數ヲ調査シ様式第

三號ニ依リ同月二十日限リ知事ニ報告スヘシ
 町村長ハ度量衡器使用個數臺帳ニ依リ前項ノ報告材料ヲ調査シ様式第三號ニ準シ毎年四月十日限リ之ヲ郡長ニ報告スヘシ
 第十一條 警察署長、警察分署長、ハ度量衡器ノ取締ニ關シ必要アリト認ムルキトハ事由ヲ具シ當該官吏ノ出張ヲ知事ニ申請スルコトヲ得
 第十二條 警察署長、警察分署長及市町村長ハ臨檢ノ爲メ當該官吏出張ノ場合ハ其請求ニ依リ可成事務執行上ノ便宜ヲ與フヘシ
 様式第一號

度量衡器巡視報告
 何警察署(分署)

巡視年月日	巡視町村 (大字)名		月	巡視 數	計	使用人員
	種別	度量衡器				
正 器 物	個	個	個	個	個	個
	個	個	個	個	個	個
不 正 器 物	個	個	個	個	個	個
	個	個	個	個	個	個

知
事
宛

年
月
日

右那(市)長 氏 名 印

尺鯨内

尺鯨内

尺鯨内

○和歌山縣告示第五號
産業獎勵規程左ノ通り相定ム

明治三十九年一月十一日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 牧

産業獎勵規程

- 第一條 此ノ規程ニ依リ開設スル共進會ニ於テ審査成績優等ナルモノ又ハ當該産業上特別ノ功勞アリト認ムルモノニハ當該會ヨリ褒賞ヲ授與ス
- 第二條 前條ノ共進會トハ品評會、種苗交換會、競技會ノ類ヲ總稱シ左ノ各號ニ該當スルモノナルコトヲ要ス
 - 一、本縣内ニ產出スル主要ノ物產又ハ其生産ニ關スル事項ヲ目的トスヘキコト
 - 二、一町村以上ヲ地區トシタル團體ノ施設ニ依ルヘキコト
- 第三條 共進會ノ主催者ハ毎年度(會計年度)五月末日マテニ左ノ事項ヲ具シ開會ノ認可ヲ知事ニ申請スヘシ
 - 一、規 則
 - 二、經費豫算
 - 三、豫定出品人員及點數
- 第四條 共進會ノ規則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
 - 一、開會ノ期間及場所
 - 二、出品ノ種類

縣報第五百十三號

明治三十九年一月十五日

第三種郵便物認可

六

三、出品ニ關スル規定

四、其他必要ト認ムル事項

第五條 共進會ノ審査長ハ知事之ヲ命ス但シ審査員ハ主催者ニ於テ選任シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 褒賞ハ功勞賞、優賞ノ二種トシ優賞ハ之ヲ四等ニ分テ一等乃至三等ハ賞品ヲ授與シ四等ハ褒狀トス但シ同一出品人コレヲ三等以上數個ノ優賞ニ當ルトキハ其最高ノモノ一個ニ對シ賞品ヲ與ヘ其他ハ賞狀ノミヲ付與ス

前項ノ賞品ハ獎勵金ニ代ヘ主催者ニ交付スルコトアルヘシ

○和歌山縣告示第六號

廣島縣ニ於テハ其縣市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料支給ニ關シ左記ノ通り規定セラル

明治三十九年一月十三日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 牧

記

廣島縣令第八十六號

明治二十五年文部省令第二號市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料支給規則第十二條ニヨリ證書ヲ以テ其受領權アルコトヲ證明セントスル場合ニ於テハ其金額ヲ直接當廳ニ於テ受領セントスルモノハ當廳ニ其他ハ居住地ノ市町村長ニ呈示シテ之カ檢關ヲ受クベシ市町村長ニ於テ前項證書ヲ檢關ヲタル時ハ選擧ナク左記様式ニ依リ市長ハ直接ニ町村長

ハ所轄那役所ヲ經テ當廳ニ報告スヘシ
明治三十八年十一月廿七日

廣島縣知事 山田春三

(様式)

市町村立小學校教員退職料(扶助料)証書檢閲報告

種目	元故職名	受領者住所	同氏名
----	------	-------	-----

右記者本年何月何日檢閱済ニ付及報告候也

明治 年 月 日

廣島縣(市)町村長 氏 名 印

仕拂命令官 知 事 宛

○村長ノ異動

海草郡和佐村長 久保田甚七

三十九年一月十二日認可ス

縣報第五百十三號

明治三十九年一月十五日

第三種郵便物認可

七

○觀 測

明治三十九年一月十日ヨリ三日間當地氣象概況

月 日	一月十日		一月十一日		一月十二日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六二耗六	七六一耗〇	七六七耗五	七五三耗四	七七〇耗六	七五九耗二
平均氣溫	六度三	一〇度九	四度九	一二度〇	三度九	四度八
最高氣溫	一二度〇	一七度六	九度八	一九度〇	一〇度〇	七度七
最低氣溫	二度〇	二度〇	〇度四	七度〇	氷点下一度〇	氷点下〇度五
最多風向	東北東	南	北	北西	北東	北西
平均風力	二米〇	七米三	二米一	六米一	一米九	五米六
天 氣	晴	曇后雨	曇	曇	晴	半晴微霽
雨雪量	〇	九耗五	〇	一二耗九	〇	〇耗四
記事現象	午前月環	午前濃霜	夜間降雨	午前濃霜	時々霰降	

郵報第五百十三號

明治三十九年一月十五日

第三種郵便認可

八終

月晝及日 暈現 正午過 降雨ス	及暴風吹	午後月晝 及南東ニ 電光 夜間南東 ニ電雷	午前一時 海上風雨 ノ響成テ 解除ス
正午及夜 間共ニ強 風吹			

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十九年一月十四日印刷
明治三十九年一月十五日發行

(金邊代價)

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目
和歌山市久保町一丁目二十四番地
和歌山郵便局